203

特250
743

大東亜戰爭下に於ける農村の使命

回産業組合記念日を迎ふるに際して

産業組合中央會
頭 千石興太郎

0002013000

3

0002013-000

特２５０－７４３

大東亜戦争下に於ける農村の使命

千石興太郎・〔著〕

産業組合中央会

昭和１７

AAC

この著作物は、著作権者不明のため、著作権法第６７条の規定に基づき、平成１２年５月１５日付けで文化庁長官の裁定を受け使用するものです。

特 250
743

はしがき

ここに第十七回産業組合記念日を迎へて、全國の産業組合では記念式を擧行し、大東亞戰爭の大詔を奉讀し、神社に必勝祈願式を擧行することになりました。この際産業組合長は組合員に向かつて、戰時下の農民の使命を自覺せしめ、挺身、食糧增産と心身共に健全なる人口增加のためは努力するやう指導して頂きたいのであります。

ここに本會會頭は第十七回産業組合記念式を擧行するにあたり、支會、聯合會及び全國一萬四千の單位産業組合關係者にむかつて、「大東亞戰爭下に於ける農村の使命」と題する內容を講話され、ここに小冊子を御送付申し上げることになりました。

何卒會頭の意のあるところを理解し、これを一村の全組合員に記念式のみならず、三月中開かれる部落常會において徹底せしめ、職域奉公に奮起するやう御指導願ひたいのであります。

産業組合中央會

目次

大東亞戰爭下に於ける農村の使命……千石興太郎…一
第十七回產業組合記念日ニ當リテ……一六
大東亞戰爭下家の光和樂大會の開き方……二〇

大東亞戰爭下に於ける農村の使命

第十七回產業組合記念日を迎ふるに際して

產業組合中央會
會頭　千石興太郎

二月十五日午後十時十分、大本營に於ては、『馬來方面帝國陸軍部隊は、本十五日午後七時五十分、シンガポール島要塞の敵軍をして、無條件降伏せしめたり。』と發表して、一億の國民に抑へんとして抑へきれぬ歡喜を喚び起しました。ジブラルタル、マルタ、ハワイの眞珠灣とともに、世界の四大軍港として、難攻不落を誇つたシンガポール島要塞も、皇軍の死鬪猛攻七日間にして、我が軍に降伏し、日章旗は南國の空高く、燦として飜つたのであります。

顧みれば、千八百十九年二月、ここ東亞の一角に英帝國がユニオンジヤツクの

旗を飜してから百二十年間、これを基點として、濠洲、ニユージーランド、ボルネオ、香港、次で支那大陸の奥ふかく、毒牙を伸し、爲に東亞は惡虐英帝國の搾取と掠奪に委ねられて、今日に至つたことは、天下周知のことであります。即ちシンガポールは東亞の權益を護る英帝國の生命線だつたのであります。その搾取の港シンガポールが、遂に覆滅してしまひました。

對米英宣戰以來、二ケ月、先に香港陷ち、次でマニラ陷落し、ここにシンガポール占領されて、米英の東亞に於ける三大據點は、根底から覆滅し、大東亞戰爭に一段階を劃するに至りました。

搾取の港、シンガポールは、我が昭和聖代の偉業を南方に伸張する新しき據點として、名稱も『昭南島』と改めて、大東亞戰爭完遂作戰の基地と生れ變りました。この昭南島によつて、南濠洲を制して英本土との連絡を斷ち、西印度洋を壓して、印度の要衝を脅かす態勢ができ上つたのであります。

さらに最近活潑となつてきた獨伊の地中海北阿作戰がスエズを制壓し、春季來たつて、陸路イラク、イランに戰線が展開するとき、盟邦獨伊と我が日本と連絡する態勢も確立したのであります。

かくの如くシンガポール陷落の意義は、深く偉大にして、英帝國が七つの海を支配して、世界の領土と富とを壟斷せる力も、この失陷によつて崩壞の運命に逢着するに至りました。それに引きかへ我が國はこれを得ることによつて、大東亞共榮圏建設の礎石を据え得たとも言へるのであります。

先には開戰早々、ハワイに米國の太平洋艦隊を殲滅し、マレー沖に英國の東洋艦隊の主力を屠つて、西南太平洋の制海、制空權を獲得し、今また金城鐵壁を誇るシンガポールを手中に納めて、全世界を驚歎せしめました。これは上に燦として輝く御稜威あり、御稜威の下、我が陸海將兵の忠勇武烈なる力戰奮鬪によるものとして、我々一億の國民は、等しく感謝感激、現はすによき言葉を知らぬ思ひ

であります。

○　○

十二月十日未明皇軍はコタバルに敵前上陸してより、マレー半島千百キロの征途を、五十日間で突破しました。そして、シンガポール要塞に飛びついてから七日間で、敵を降服せしめました。マレー半島千百キロと簡單に言ひますが、下關を發して東京にいたる長距離なのであります。その間、百三十度の炎熱にさらされ、毒蛇猛獸の棲むヂヤングル地帶に道なき道を踏みわけ、泥濘膝を沒する濕地帶にはばまれること幾度でしたらう。しかも一日二十キロの進擊といふ世界戰史に類例なき赫々たる戰果をおさめえたことは、近代科學の粹を集めたる兵器の力と作戰の巧妙によることは言ふまでもありません。然し私は我が皇軍將兵の忠勇武烈の精神力と、百難千苦を突破しうる體力によるところ多きことを強く感ずるものであります。

これは獨りマレー半島を席捲した皇軍の將兵にかぎりません。ハワイの眞珠灣に奇襲し、英國の主力艦をマレー沖で擊滅せしめた海の荒鷲や潛航艇の乘組員にも私は皇軍の將兵ならでは見ることのできない逞しき精神力と體力の發現されたのを見ました。これは日本人の性格よりほとばしり出る力とは知りながら、今更ながら驚歎せざるを得ないのであります。

○　○

大東亞戰爭はかくて、緒戰の一階段を劃しました。今後戰線はます〳〵廣大となり、一方に戰ひつゝ、一方に建設しつゝ、樞軸國と手を携へて、日本が中心となつて、世界の動向を決定して行かねばならなくなりました。かく考へるとき、大東亞戰爭を完遂することは尙前途遼遠であります。なんとなれば、英帝國は手足をもぎとられたとは言へ名にしおふ老大國であり、本來のねばり强い國民性と多年蓄積した底力を出して、たとひ第一線に破れても、第二線、第三線、第四線

と地の利によつて、世界の富の大半を占める米國と力をあはせて、執拗な海陸空の抵抗戰を試みてくるに相違ないからであります。

我々國民は一時の戰捷に醉ふて、この點を忘れてはなりません。大政翼賛會では、十二月八日大東亞戰爭勃發するや、一億國民にむかつて、『屠れ米英我等の敵だ、進め一億火の玉だ』の標語を掲げました。さらに緒戰の戰果に醉ふことを警しめて、『勝つて兜の緒をしめよ』と言ひ、今回のシンガポール陷落に際しては、『シンガポールに凱歌あがる。一億の決意いよ〳〵固し、進め貫け米英に最期のとゞめ刺す日まで。』と、宣傳してゐます。

前線の皇軍將兵の武勇に信頼し、國内一億の民にこの覺悟あるとき、我が日本は東亞諸民族の盟主となつて、所を得ざる國と民とに所を得ざるものなきやう指導し、世界を動かす中心勢力となつて、新秩序を建設するまで戰ひ拔くことができると思ひます。それには我が國民に皇軍將兵が發揮したやうな逞しき精神力と

體力が必要なのであります。

若し、それ、國民が緒戰の戰果に醉ひ、且つ世界の寶庫を手に入れて、米でも砂糖でも、石油でも、ゴムでも、錫でも、ありあまるほど來るものと油斷して、物の不足と戰ひ拔く氣慨を失ふことあらんか、皇軍將兵の赫々たる戰果も、槿花一朝の夢となり終るより外にありません。

○　○

今日の日本に於ては人間の數をふやすことが絶對に必要となつて來ました。しかも純潔無垢な大和魂を内に藏する人間が今日ほど一人でもほしい時代は、未だかつてありません。

かういふ不屈の精神力と體力を、日本の輝かしき國民性として繼續するためには、瑞穗の國の食糧を確保する農村に營々と働く農民の力に待つより外はないと思ひます。天壤無窮の土と共に生きる農民に期待するより外はないと思ひます。

綿々二千六百二年、瑞穗の國の食糧をつくる鄕土農村こそは、純潔無垢な大和魂と堅忍不屈の體力を培養する苗床であつたからであります。私どもはこの事實を日本歷史の興隆と共に信ずるものであります。

然るに、國民のうちには、南洋の諸地域を確保すれば、米をはじめ、各種の農作物が、低廉なる生產費で作れるやうになるから、最早內地で增產の必要はないではないかと考へる向もあるやに聞きます。然しかくの如き考へ方は、眞に農村の使命を理解せざるものであつて、斷じて容認することのできない考へ方であります。興隆日本が今欲してゐる人口の增加も、大和魂と逞しき體力をあはせ藏する國民をつくり上げることも、食糧をつくる農民に待つより外はないことを私は信ずるものであります。

今日生產資材の不足に直面して、食糧の增產をなす爲には、農業の機械化も必要でありませう。共同作業もいろ〳〵考へて、仕組むことも必要でありませう。

しかしそれは飽まで日本の農家、農業、農民のよさを生かし伸すものでなければなりません。今回ドイツが大東亞戰爭に於ける日本の赫々たる戰果を聞いて、その原因は那邊にありやと問ふて『御稜威の力とお互に助けあふ麗はしき家族あるがため』と觀察してゐるのを見ても、我々は我が國の農業の本質より生れたる農村、農家の特性を尊重して、其の長所と美點を失ふが如きことは愼まねばならぬと思ひます。我が農村より强靱不屈な心身力を藏する人間の生まるるといふことは、大地に鍬をにぎつて土を打ち、朝露をふんで草刈をなし、牛馬と共に田を耕し、堆肥を積みこみ、雨風にさらされ、暑さ寒さを忘れて、默々と働く勤勞あるがためであります。

日本の國防の範圍が全東洋に及べば及ぶほど、兵力の增强を國家は要求して參ります。兵力は國民全體から選拔されるのでありますが、その中樞をなし、指導的立場に立つものは農民に求めるより外にありません。思ひをこゝにめぐらすと

き、農民は日本興隆の礎をなすものとして、自重すべきであります。

然るにこれまで農村の保健厚生文化の施設は都會ほどに惠まれてゐません。それでさへ今日まで國家の活動力の源泉たる忠勇な兵力を培養して來てゐるのであります。況んやさらに一層保健施設を加へ、質實剛健なる文化を植ゑつけるやうに指導するに於ては、永遠に我が農村は日本興隆の原動力を培ふ鄕土として繁榮することゝ思ひます。農民諸君もこの點を自覺し自重自愛、この誇を天地の無窮と共に繼承するやう希望してやまぬ次第であります。

○　○

さて、今年は産業組合法發布より算へて四十三年目にあたり、第十七回産業組合記念日を迎へることになりました。我が産業組合の指導理念は言ふまでもなく共存同榮、相互扶助を目標として、お互が協同してよりよき鄕土を建設するにあります。今日に於てはその多年培ひ來たつた精神力、經濟力及び組織力を發揮して、決戰下の我が國策に協力してゐることは言ふまでもありません。先頃東條總理大臣の言明によりますれば、東亞共榮圏建設の理想は、東亞の諸民族をして、ことごとく所を得せしむるやうに日本が指導して、國と國とが助けあつて共に存し共に榮えようといふのでありますから、産業組合の理想とするところと同じ精神なのであります。私ともは産業組合記念日を迎ふるにあたり、永年培ひ來たつたる産業組合精神を新に强調して、思を新にして頂きたいのであります。

世の中には農業團體が統合される場合には、産業組合といふ言葉が消えると共に、産業組合精神や事業はどうなるのだらうと心配する向のあることを聞きますが、さういふ杞憂を抱くことは思はざるも甚しいものであります。たとひ、産業組合の名前は消えても、お互が力を協せて農業を營み、快適な生活をなす爲に助けあふていく産業組合精神は、永遠に消えるものではありません。從つて經濟的協同活動は今後ます〳〵强化されなければならぬのです。統合の曉は中央、道府

縣、町村とわかれて、農業者自らつくるところの農業團體をして、生産に必要な金融、農産物の集荷、生産資材の配給に、施設の共同利用に力をつくして、眞に食糧增産の成就するやうな經濟活動はます〳〵活潑になさねばならぬのであります。たとひ名前が何と變らうが枝葉末節に囚はれず、協同の精神を强調し、經濟的協同活動をます〳〵活潑にして、農村農民が國家より要請される、食糧增産と人口增加のために、鄉土の底力を出しつくして努力しなければなりません。

この際、自由主義時代の夢さめず、組合員個々の利益に囚はれて、國家の要請に對して怠慢があつては相すみません。どうぞ盡忠報國の大理想にむかつて組合員一致協力して職域奉公の誠を盡すやう指導されんことを希望します。

何んと申しても食糧增産は國家の至上命令であります。日本人の食糧は日本國でつくる。お互の力で自給して心配のないやうにする。この考へが今日絶對に必要なのであります。何卒農會や其の他の關係團體と緊密に相協力して增産計畫を

立て、自給肥料の增産に努め共同作業を普及せしめて勞力を調整し、畜力、農機具の共同利用や肥料の配給を合理化し、托兒所や共同炊事によつて勞働力を生み出し、增産の目標を達成せしめて頂きたいのであります。かくて國の要請があれば直ちに責任出荷をなし、國民全體の食糧に不安なからしめるやうに努力していたゞきたいのであります。

繰返へして申すやうでありますが、日本の食糧は國內で自給することにしなければなりません。南方の地域に依存するやうなことは、大日本帝國の權威に關することであります。なんと申しても今後の大東亞戰爭は一面戰鬪、一面建設の時期に入つて來ました。そして戰爭に勝ちぬくことが第一義でありますから、作戰上の必要とあれば、建設的の事柄がおくれるもやむを得ません。目下は船舶が作戰の一大動脈をなしてゐるので物資の交流は決して容易ではありません。不自由な資材と不足の勞力によつて、できるかぎりの增産に邁進することは並々ならぬ

骨折であります。しかし日本が戰ひを勝ちぬく爲には、その骨折をやつてもらひたいのであります。さらに戰時の新生活を確立して、まづ、この物資不足、勞力過重の際起りがちな農民の健康をそこねることのないやうに指導していたゞきたい。又消費規正を實踐して生活の節約から生まるゝ餘剩力は、悉く貯蓄にふりかへ、戰爭の原動力である戰費の充實に向つて參加協力するやう指導して頂きたいのであります。

以上屢々申しのべました事柄は、悉く大東亞戰爭下において、農村農民が國家に御奉公申し上げる唯一の道でありまして、この任務をつくすことのみが皇軍將兵の赫々たる戰果に酬ゆる所以だと思ひます。

第十七回産業組合記念日ニ當リテ

畏クモ米英ニ對スル宣戰ノ大詔ヲ奉戴シ一億國民ハ必勝ノ信念ヲ以テ大東亞戰爭ノ完遂ニ邁進シツツアリ。而シテ今ヤ皇軍ハ御稜威ノ下陸海軍ノ偉大ナル戰果ヲ擧ゲ亞細亞民族解放ノ聖業正ニ其ノ緒ニ就カントシ吾人ノ責務ハ愈重ヲ加フ。此ノ秋ニ當リ我ガ全國八百萬組合員ハ意義深キ産業組合記念日ヲ迎ヘ茲ニ左記事項ヲ記念事業トシテ採擇シ總力ヲ擧ゲテ之ガ達成ニ協力シ以テ職域奉公ノ誠ヲ效シ皇國ノ宏謨ヲ翼賛シ奉ランコトヲ期ス。

必行事項

一、産業組合記念式並ニ必勝祈願式ノ擧行

イ、産業組合記念式ニ宣戰ノ大詔ヲ奉讀シ大東亞戰爭ノ完遂ヲ神社ニ祈願スルコト

ロ、國旗並ニ組合旗ヲ揭揚スルコト

ハ、優良組合員ヲ表彰スルコト

二、食糧增産運動ノ强化

イ、産業組合記念式擧行ノ際食糧增産ニ對スル産業組合ノ實踐方針ヲ明カニスルコト

ロ、農會ト提携シテ增産技術ニ關スル會合ヲ開クコト

ハ、三月上旬中開催ノ部落常會ニ食糧增産ニ對スル産業組合ノ實踐方針ヲ明示强調スルコト

ニ、食糧增産運動ノ實踐單位タル農事實行組合網ノ完成並ニ整備ヲ圖ルコト

三、農村厚生運動ノ擴充

左記事項中町村事情ニ適合セルモノヲ積極的ニ實施スルコト

イ、時局講演會ノ開催

ロ、國民健康保險組合ノ代行促進

ハ、健康診斷並ニ健康相談ノ實施

ニ、移動映寫、移動演劇利用ノ組合員厚生文化ノタノ開催

ホ、「家の光」和樂大會ノ開催

ヘ、「家の光」讀書會ノ開催

四、戰時新生活ノ確立

イ、規正物資ノ計畫配給並ニ生活指導ノ徹底ヲ圖ルコト
ロ、衣食住物資ノ自給ヲ奬勵スルコト
ハ、廢品更生ヲ奬勵スルコト
ニ、生活協同化ノ計畫及指導ヲ圖ルコト

五、國民貯蓄運動ノ强化

イ、三月上旬中開催ノ部落常會ニ貯蓄ニ對スル趣旨ヲ徹底スルコト
ロ、國民貯蓄運動、感謝貯蓄運動ヲ徹底スルコト
ハ、長期貯蓄ノ徹底ト退藏資金吸收運動ヲ實施スルコト
ニ、負債合理化運動ヲ實施スルコト
ホ、貯蓄功勞者ヲ表彰スルコト

選擇事項

左記事項ハ產業組合ノ戰時活動遂行上實施スベキ重要目標ナルモ町村組合ノ事情ニ應ジ特ニ强力ニ實施ヲ要スル計畫實施方法ハ組合員ニ發表シ全組合員協力シテ實現ニ努ムルコト

1、農事實行組合指導者及中堅幹部ノ錬成ト增產技術ノ向上
2、農機具ノ確保、配給及共同利用ト資金ノ積極的貸出
3、共同作業ノ整備强化
4、共同炊事、共同託兒所、保健婦、母性補導員等厚生施設ノ促進
5、婦人作業服、國民榮養及代用食、臺所改善、衞生良習慣ノ普及徹底
6、苧麻回收運動ノ實行
7、農村文化委員會ノ組織

大東亞戰爭下家の光和樂大會の開き方

(一) 開催の趣旨

家の光和樂大會は産業組合精神の發揚と共に非常時局下食糧增産に勵む農山漁村民に慰樂を與へ銃後厚生に萬全を期し併せて親和と農村文化の向上を圖るものなることは大東亞戰爭勃發と雖もその方針に何等變るところなく寧ろ長期戰を完遂する爲には健全慰樂及び厚生は最も重要なるものである。

然し現下の狀勢にありては單に慰樂に止るのみでなく、其の機會に國民士氣の高揚を圖り國民の負擔すべき諸任務の遂行に對する決意を愈確固ならしむる會合であることが必要である。

(二) 家の光和樂大會順序

一、開會の辭

二、皇居遙拜

三、默禱

皇軍將士の勞苦と戰歿者英靈に感謝し併せて必勝の祈願をなす

四、國歌齊唱

五、産業組合員精神綱領朗讀

又は決戰生活訓、銃後奉公の誓等

六、主催者挨拶

主催者挨拶中には左記各事項を必ず挿入の事

(1) 必勝の信念を堅持すること

(2) 今大東亞戰爭の原因は米英にあること

(3) 大東亞戰爭は建設戰であり長期に堪へる覺悟を强調する事

(4) 大東亞戰爭の戰果擴大に伴ひ食糧增産は一層重要に付このために愈努力する事

(5) 流言謀略に惑はぬこと

(6) 現下の狀勢に卽應する生活態度を强調すること

(7) 貯金の實行

(8) 農村は日本精神、國民體力の根源なることを自覺し職域奉公に邁進すること

七、祝　　辭

八、功勞者表彰

九、和樂行事

兒童劇、音樂、舞踊其他全村民の自演による慰樂を提供すること

尙和樂行事の初めに於て大政翼賛會唱導の詩歌朗讀をなすことは適切なるものと考へられる

一〇、決議又は宣誓（但し全體の空氣を固くせざる樣工夫のこと）

一一、國民歌合唱

士氣を昂揚すべき國民歌を一同起立して高らかに合唱

（又は產業組合歌）

一二、閉會の辭

419
70

昭和十七年三月一日　印刷納本
昭和十七年三月六日　發　行

【非賣品】

東京市麹町區有樂町一丁目十一番地
編輯兼發行人　中島寅之助

東京市京橋區木挽町一丁目十五番地
印刷人　福田吾市郎

東京市京橋區木挽町一丁目十五番地
印刷所　恒陽社印刷所

東京市麹町區有樂町一丁目十一番地
發行所　産業組合中央會
振替口座東京四七二四番